

# 環境経営レポート

(対象期間：第18期 2024年9月～2025年8月)

# 優者共栄

作成 2025年 10月 17日

承認	作成
	

長野県 茅野市 豊平 443-2



## ◀ はじめに ▶

- 第17期が過ぎ、比較的 EA21 の運用は順調に機能し、成長してきたと思います。  
18期はサステナブルな社会の実現を目指す企業として、環境負荷の低減に取り組み、具体的な活動とし CO2 排出量の削減を目指します。  
その一環とし自己消費型太陽発電を軸に環境負荷の低減を実行していきたいと思ひます。

株式会社芳沢スクリーン  
代表取締役 芳沢 明

### ◆ 事業活動の概要と環境活動実施体制

**事業所名・所在地** 株式会社 芳沢スクリーン  
長野県茅野市豊平 443-2

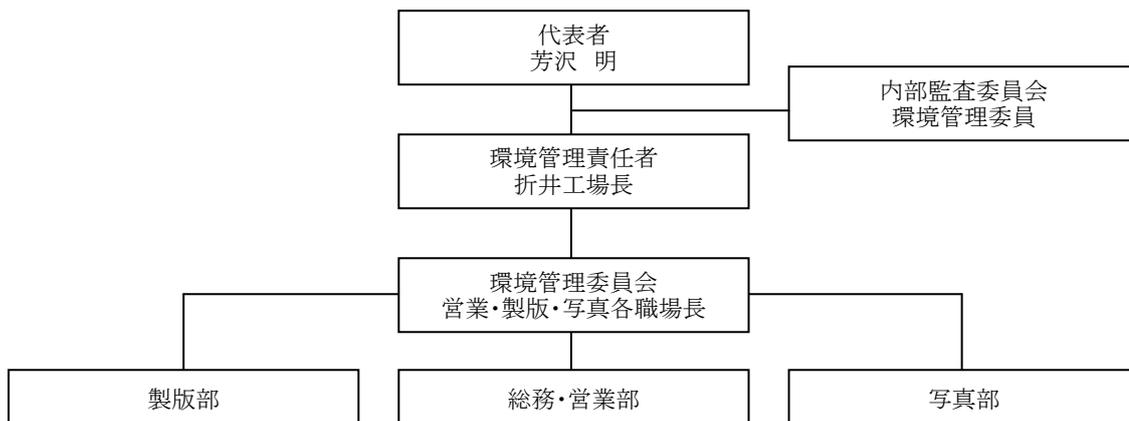
#### 環境保全関係の責任者及び担当者・連絡先

経営者 : 代表取締役 芳沢 明  
環境管理責任者&事務局 : 工場長 折井 明  
TEL : 0266-73-5568 FAX : 0266-72-0035  
E-mail : whole@y-screen.co.jp

**事業活動の内容** スクリーン製版、写真製版、各種インク販売  
サインディスプレイ (看板、標識等の受注及び発注)

**事業規模** 総売上高 : 197 百万円 従業員 : 18 名  
延床面積 : 1,376m<sup>2</sup> 敷地面積 : 2,140m<sup>2</sup>

環境活動実施体制(環境マネジメントシステム組織図)



【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ ②環境方針を策定し、従業員に周知する ③資源の用意をする ④EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境管理委員を任命する
内部監査委員会	①環境目標が達成できているか監査する ②当社が定めたルールに適合しているか監査する ③環境パフォーマンス(実績の数値)が向上しているか第三者的立場から監査の上評価しその結果を代表者及び環境管理責任者に報告する
環境管理責任者	①EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21書類の取りまとめをする ④環境管理委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境委員会	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する法規制等を遵守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する

## 環 境 経 営 方 針

### 【基本理念】

### 「産業と自然」との共生

環境問題に正面から取り組み  
社会に環境配慮活動を提案し  
社会貢献を実践する。

### 【環境経営方針】

1. 当社の事業活動により生じる環境への影響をしっかりと把握し、継続的改善及び環境汚染防止に努めます。
2. 環境に関しての法律、協定を遵守します。
3. 当社の事業活動によって生じる環境影響については、次の視点から適切な環境目的及び目標を設定し、活動していきます。

環境目的、目標は定期的に見直しを行います。

- ①技術提案、環境提案を拡大する
  - ②省資源、省エネルギーに取り組む
  - ③使用化学物質及び廃棄物を削減し、適正に処理する
  - ④作業環境の安全衛生の向上に伴い、環境汚染防止に務める
4. グリーン購入・グリーン調達を積極的に進めると共に、購入先への要望・要請も合わせて取り組む。
  5. 環境に配慮した製品を生産または販売をします。
  6. 地域周辺への環境保全に配慮し、地域から信頼される事業活動を行います。
  7. 環境経営方針は、全社員に周知徹底し、社外へ公開します。

2018 年 9 月 1 日

株式会社 芳沢スクリーン

代表取締役 芳沢 明

## ◆ 負荷の自己チェック状況

環境への負荷		単位	第 16 期 (2022 年 9 月～ 2023 年 8 月)	第 17 期 (2023 年 9 月～ 2024 年 8 月)	第 18 期 (2024 年 9 月～ 2025 年 8 月)	
①温室効果ガス(二酸化炭素) 排出量		kg-CO <sub>2</sub>	60,806	57,766	67,019	
②廃棄物 排出量	一般廃棄物	焼却	kg	432	484	567
		埋立	kg	180	155	211
	産業廃棄物	再生利用	kg	2,765	2,853	2,601
		廃酸・廃アルカリ	kg	2,400	2,440	2,400
③-1 総排水量(下水道)		m <sup>3</sup>	523	634	594	
③-2 水使用量(上水)		m <sup>3</sup>	523	634	594	
④化学物質 使用量	ノルマルヘキサン 10%	kg	18	14	18	
	ハイドロキノン 3%	kg	20	20	18	
⑤エネルギー 使用量	購入電力	MJ	832,622	817,612	791,016	
	化石燃料	MJ	299,293	265,981	420,915	
⑥資源使用量		kg	6,749	7,075	6,922	
⑦サイト内で循環的利用を行っている物質			(なし)			
⑧製品生産量(製版・写真 売上高) 前年比		円	11.4%減	3.4%増	2.2%増	

※ 購入電力の排出係数は 2021 年度の株式会社情熱電力・実排出係数 0.474 kg-CO<sub>2</sub>/kWh の値で計算しました。

## ◆ 環境目標と活動計画における取組内容、及びその結果と次年度の取組内容

■ 紙使用量削減		判定 : ○	
中長期目標 前期目標-1%削減 kg/百万円(製版、写真売上げ)			
	17 期	18 期	19 期
全社	0.69	0.68	0.67
写真部	2.78	2.75	2.72
18 期全社実績 0.47 k g /百万円 18 期写真部実績 2.33 k g /百万円 19 期全社目標 0.67 k g /百万円 19 期写真部目標 2.72 k g /百万円			
<b>【取組内容】</b> ・両面印刷 ・裏紙使用(全社供用使用) ・社内文書データ化 ・写真部 PDF チェック方法のペーパーレス、客先とのペーパーレス化の統一、客先への要望 ・写真部指摘不良件数の低減			
<b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b> 全社、写真部ともに前期実績を基準に-1%削減として取り組み、目標達成できました。 写真部の客先への要望が進み、使用量の削減ができ目標達成できました。次期については中長期目標通り全社・写真部とも前期目標-1%とし取り組みを継続します。			

## ■ 二酸化炭素排出量・電力における削減

判定：○

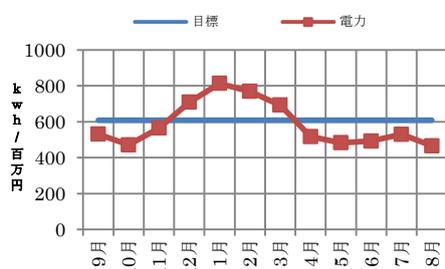
中長期目標 前期目標継続

kwh/百万円 (製版、写真売上げ)

17期	18期	19期
609.4	609.4	609.4

18期実績 605.2kwh/百万円

19期目標 609.4kwh/百万円



### 【取組内容】

- ・PC電源管理(各自の使用状況に合わせ設定)
- ・空調最適温度管理
- ・常時稼働エアコン温度変化の監視(おんどとり、オムロン)
- ・写真部明室、製版部コーティング室エアコンの夜間、休日停止による品質管理
- ・品質改善、作業効率UP
- ・設備・機器のメンテナンス実施
- ・全社エアコンスケジュールタイマーへ取り換え、有効活用

### 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

今期目標達成できました。昨年同様猛暑となりエアコン使用が増えたわけですが、昨年のような不良多発というような問題は無く売り上げも伸ばせたことと最終月、8月よりソーラーシステムの稼働を開始できたことも良い結果に繋がったと要因だと思います。次期については中長期目標通り、現状維持とし、今後、ソーラーシステム稼働により大幅に削減ができれば目標の見直しをしていきます。

## ■ 二酸化炭素排出量・自動車燃料における削減 軽油

判定：×

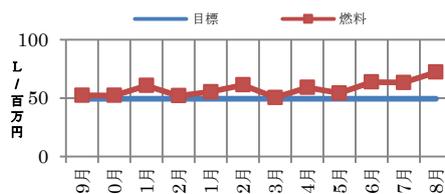
中長期目標 前期目標-1%削減

L/百万円 (製版、写真売上げ)

17期	18期	19期
54.08	49.43	49.43

18期実績 58.22L/百万円 (月)

19期目標 49.43L/百万円 (月) 継続



### 【取組内容】

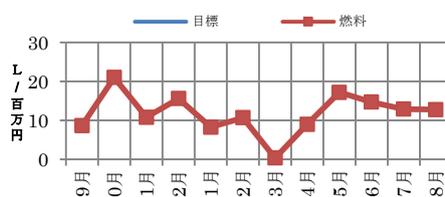
- ・効率的な営業活動と配送
- ・燃費の良い車の有効利用
- ・アイドリングストップ
- ・急加速急発進の防止

### 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

目標未達成となりました。遠方への納品回数が増えたことにより使用量が増えたことが要因となっています。出来るだけ納品回数を減らしていく計画をし、効率的な営業活動、配送の取り組みを継続し、次期目標については前期目標継続とし、出来る限り燃費の良い車の有効活用をし、更に効率的な営業活動、配送につなげていきます。

## ■ 二酸化炭素排出量・自動車燃料における削減 ガソリン

18期実績 18.8L/百万円 (月)

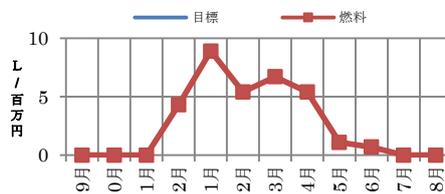


### 【今期使用量把握】

今期より社有車(社長使用)のガソリン使用量を把握する事としました。

## ■ 二酸化炭素排出量・灯油燃料における削減

18期実績 4.13L/百万円 (月)



### 【今期使用量把握】

今期より会社管理の実習生の社宅で暖房に使用する灯油の使用量を把握する事としました。

■ 廃棄物分別・削減 対象(廃プラスチックのみ)		判定：○
中長期目標 前期目標-1%削減 kg/百万円 (製版売上)		<b>【取組内容】</b> ・廃棄物計量の徹底 ・リサイクル品の徹底 ・グリーン購入、調達の見証(仕入れメーカーへの納入形態の簡素化、納入資材のリサイクル使用の要望、要請) ・電子マニフェストの導入
17期	18期	
25.8	24.29	24.05
18期実績 17k g/百万円 19期目標 24.05k g/百万円		<b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b> 今期も廃棄物分別収集、廃棄物計量、きちんと決められた通り活動ができ、目標達成できました。次期目標については中長期目標通り前期目標-1%削減とし取り組みを継続します。 今期より写真部廃液の産廃処理についても電子マニフェストへの切り替えができました。

■ 水使用量の削減		判定：×
中長期目標 前期目標継続 m <sup>3</sup> /百万円 (製版、写真売上)		<b>【取組内容】</b> ・製版部不良率の低減 ・製版部前処理洗浄の見直し ・前処理洗浄機定期メンテナンス実施 ・前処理作業の統一 ・写真部フィルム不良率低減 ・設備水漏れ点検実施 ・節水
17期	18期	
3.54	3.54	3.54
18期実績 4.41 m <sup>3</sup> /百万円 19期目標 3.54 m <sup>3</sup> /百万円 継続		<b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b> 前期発生したような不良多発ということは無く使用量も減ってきています。主に製版部の前処理洗浄機の使用量で大きく変動しますのでメンテナンスを決めた通りに実施して安定した運用により使用量削減につなげていきます。次期目標については前期目標継続として取り組みを継続します。

■ 製版部不良率削減(張り加工)		判定：×
中長期目標 (新目標 0.1%以下)		<b>【取組内容】</b> ・枠の良悪し選別 ・張り機スクリーンコーナー部緩め徹底 ・ボンド塗布時浮き押さえ ・版、取扱注意 ・スクリーン種類別強度の教育 ・気温低下時ボンドの温度管理 ・新人教育により過去の同類不良発生の撲滅
17期	18期	
0.10	0.10	0.10
18期実績 0.40% (月平均) 19期目標 0.10% (月平均) 継続		<b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b> 主な不良内容として、スクリーンのキズ見逃し、破断、剥がれなどのミスが多発してしまい目標は未達成となりました。同類不良の発生撲滅を初期教育だけでなく日々の作業で徹底し、目標は0.1%以下として取り組みを継続します。

## ■ 製版部不良率削減(コーティング)

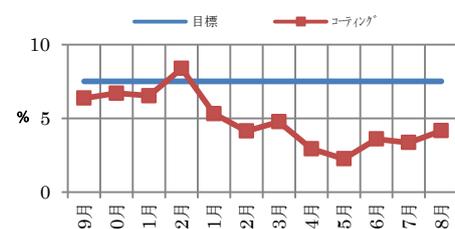
判定：○

中長期目標 (前期目標継続)

17期	18期	19期
7.52	7.52	7.52

18期実績 4.88% (月平均)

19期目標 7.52% (月平均) 継続



## 【取組内容】

- ・品質改善
- ・コーティング室へのゴミ、ホコリの持ち込み防止
- ・コーティング前ゴミ、ホコリのハンドクリーナーによる確実な除去
- ・バケツ先端乳剤の確実な拭き取り
- ・定期交換品の管理、交換方法の確立

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

前期のようなメーカーに於けるスクリーン不良が多発ということではなく、作業者に対し作業方法を的確に指導し、それを守って作業することを徹底し良い状態が継続できるようになってきました。定期交換品の交換方法と使用方法を決められた通りに実施し、良い状態を継続していきます。次期目標については中期目標通り前期目標継続とし取組みを継続します。

## ■ 製版部不良率削減(焼き付け)

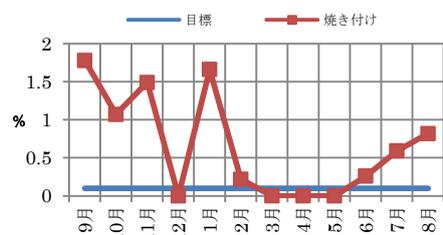
判定：×

中長期目標 (新目標 0.1%以下)

17期	18期	19期
0.10	0.10	0.10

18期実績 0.66% (月平均)

19期目標 0.10% (月平均)



## 【取組内容】

- ・人員入れ替え時の確実な教育の実施
- ・込まない運動実施
- ・PS版ゴミの確実な確認
- ・注文書、フィルム膜面、版種、焼き付け位置の確認
- ・決めたことを守って確実な作業をする

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

今期に入り新たに人員を加え教育を進め、前半不良が増えてしまいましたが後半、まだ波はありますが問題なく作業出来る様になりました。確実に決めたことを守って落ち着いて作業をすることを重点に取り組み、今期目標も0.1%以下とし取組みを継続します。

## ■ 写真部指摘不良低減(データ編集)

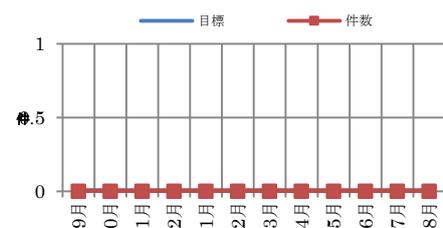
判定：○

中長期目標 0件

17期	18期	19期
0	0	0

18期実績 0件

19期目標 0件



## 【取組内容】

- ・込まない運動実施
- ・チェックリストに準じた作業方法の遵守
- ・指摘事項、不良発生時の対策会議実施
- ・決めたことを守って確実な作業をする

## 【評価(取組結果と次年度の取組内容)】

今期指摘不良は通年を通して0件で目標達成できました。良い状態が継続出来ていますので引き続き(1つ1つのプロセスの手抜きをしない)を通年のテーマとして取組み、次期目標も引き続き目標0件とし、取組みを継続します。

■ 写真部フィルム不良率削減		判定：×					
<p>中長期目標 0%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>17 期</th> <th>18 期</th> <th>19 期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>18 期実績 0.13%</p> <p>19 期目標 0%</p>	17 期	18 期	19 期	0	0	0	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作画不良、フィルムカットサイズ不良、修正不良の低減</li> <li>・新入社員入社時事前教育により取扱い不良の低減</li> <li>・現像機暗室温度調節による結露対策により不良防止</li> <li>・フィルム作画時の膜面確認</li> </ul> <p><b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b></p> <p>不良枚数は最小限に抑えられましたが目標未達成となりました。フィルム現像時の汚れ付着による不具合発生でした。機械メンテナンスの定期実施を行い、不具合発生を未然に防止します。通年を通しては良い結果になっていますので、次期目標も不良率 0%とし、取組みを継続します。</p>
17 期	18 期	19 期					
0	0	0					
■ 化学物質の削減		判定：○					
<p>作業環境の安全性向上（現状維持）</p>	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・張り作業環境の監視</li> <li>・接着剤混合時防臭マスク着用</li> <li>・ボンド・うすめ液使用量明記</li> </ul> <p><b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業環境測定機関(コーエキ)による環境測定実施。(6ヶ月毎)</li> <li>10月・第1管理区分、問題なし</li> <li>3月・第1管理区分、問題なし</li> </ul>						
■ 事務用品のグリーン購入		判定：○					
<p>事務用品購入時の環境配慮</p>	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品購入時グリーン購入対象商品確認後購入</li> </ul> <p><b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット購入時確認後購入</li> <li>・仕入れメーカーへの納入形態の簡素化、納入資材のリサイクル使用の要望、要請の拡大</li> </ul>						
■ 製品、サービスに関する環境への取り組み		判定：○					
	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製版部張り作業環境の監視</li> <li>・営業活動、配送ルート効率化により燃費の良い車の有効利用</li> <li>・行き先ボードの有効活用</li> </ul> <p><b>【評価(取組結果と次年度の取組内容)】</b></p> <p>前期に引き続き、納品、営業活動に合わせた生産をし時間をベースに物事を進める取組みをしました。良い結果が出ています。人員の配置を管理し更に効率を上げる取組みを継続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行き先ボードのきちんとした活用を再確認しました。</li> </ul>						

## ◆ 環境教育の実施／緊急事態の特定、準備、訓練

当社では環境活動の周知徹底を図るため、環境方針や取組状況を環境掲示板へ掲示するとともに、毎月全体昼礼を実施し、取組結果の報告をして各部署の取組による成果を確認しています。また外国人作業用に、母国語環境方針の翻訳版を掲示し、読み合わせを行い、職場リーダーにより更に理解できるようフォローアップに努めています。その他、第 18 期に実施した環境教育は下記のとおりです。

教育訓練名称	対象者 実施日	講師・主催	内容	
全社員教育 (全体昼礼)	全社員 (毎月)	社長 環境管理責任者	環境方針の周知徹底 取組結果の報告 各部署の取り組みによる成果確認	
新入社員教育 外国人労働者教育	新入社員受入時	環境管理責任者	本年の新入社員教育は 2/18, 4/14, 7/27、 8/28 に実施しました	
有機溶剤の取り扱いについて	製版部 (研修生)	有機溶剤作業主任者	有機溶剤使用時の注意点 (接着剤,シンナーの取扱いについて) 4/14、 7/27、8/28 実施	
避難訓練	全社員 (2025/8/8)	環境管理責任者 地域消防経験者	緊急事態対応の訓練 (地震発生を想定し避難訓練)	
漏洩訓練	製版部 (2025/8/8)	環境管理責任者	緊急事態対応の訓練 (漏洩)	

当社では緊急事態対応として、火災、地震、停電、大雨、台風、漏洩の6項目を特定しています。

全従業員に対し、地震発生を想定し、緊急事態対応手順書に基づき、避難訓練を行いました。

外国人作業者へは、(環境管理責任者)折井より、更に理解できるようにフォローUPしました。

大きな地震の場合に備えて、日頃から家族の安否確認方法や帰宅方法も考えておくようにしました。

漏洩訓練では当該部署の社員に対して、緊急事態漏洩訓練の手順書に基づき、実際の緊急事態を想定して新入社員作業者に指導しながら、用具の使用方法等理解できるよう説明し訓練できました。ボンド、うすめ液の危険性を説明し保護具着用の必要性を説明して理解を深めました。

### ◆ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用となる環境関連法規は下記の通りです。2025年9月22日、遵守の確認を行い、特に問題はありませんでした。また関係当局よりの違反の指摘は過去5年間ありません。

適用法	法規制対象	遵守状況
廃掃法	廃棄物管理	○
消防法 諏訪広域火災予防条例	危険物第4類第一石油類 シンナー、ボンド	○
茅野市公害防止条例 (騒音・振動規制)	空気圧縮機	○
下水道法	下水道	○
水質汚濁防止法	チオ硫酸アンモニウム	○
毒物劇物取締法	メタノール	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン、コンプレッサー用ドライヤー	○
労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則)	ボンド、うすめ液	○

### ◆ 現場の大きな改善

【ソーラーシステムの導入】



## ◆ 代表者による全体の評価と見直し

2025 年 9 月 20 日、代表者による全体の見直しを行い、次の結果が得られました。

### 【環境経営方針】

変更なし。

### 【実施体制】

見直しの変更なし。

### 【目標・活動計画の状況】

今期も引き続き目標値を全て前期実績－1%として取り組みました。

紙使用量の削減: 全社、写真部ともに目標達成できました。

自動車燃料の削減: 目標未達成となりました。取り組み継続します。

電力、水使用量の削減: 電力は目標達成、水使用量については目標未達成となりました。

水使用量については製版部の前処理洗浄機で使用する水の使用量によって大きく左右されるため前処理洗浄機の日々メンテナンスと定期メンテナンス、フィルター類の交換を確実に実施して削減に繋げていきます。

製版部不良率削減: 張り工程、焼き工程、目標未達成となりました。コーティング工程については目標達成できました。まだまだ不安定な状況は続いています。不良発生原因を徹底的に追求し PDCA を実行することを継続します。

写真部指摘不良低減: 指摘不良件数は年間を通して 0 件で目標達成、フィルム不良は 0.13% 目標未達成。時期目標については、指摘不良は 0 件、フィルム不良 0% を継続し、根絶を目指して個人個人の取り組み内容、目標を明確にし(一つ一つのプロセスの手抜きをしない)を通年のテーマとして取り組みを継続します。

### 【総括】

- ①時間ベースに物事を進め、作業者の配置も踏まえて管理し効率アップを図ること。適切(具体的)な指示をする
- ②PDCA に完全・簡潔に取り組み、一つ一つのプロセス(過程)を怠らないこと。
- ③取り組みについては指示後決められたことを守って即時実行し結果を報告すること。
- ④データ収集は収集が目的ではなく、データを考察し取り組むことが目的、
- ⑤指導者は作業標準の再確認をして、製造工程の更なる確立・安定・維持を図る。